

資料 3b 訂正を加えた「医学生の臨床実習における医行為と水準」の例示

1. 指導医の指導・監視の下で実施されるべき（レベル I）

		医行為
レベル	内容	医学生の臨床実習における医療行為と水準(平成22年度改訂版モデル・コア・カリキュラムに準拠した北村試案に一部削除、加筆し引用)
指導医の指導・監視の下で実施されるべき (レベル I)	診療の基本	臨床推論、診断・治療計画立案、EBM、診療録作成、症例プレゼンテーション
	一般手技	体位交換
		移送 皮膚消毒
		外用薬の貼付・塗布 気道内吸引 ネブライザー
		静脈採血
		末梢静脈確保 胃管挿 尿道カテ挿入抜去
		注射(皮下皮内筋肉静脈内)
		診療記録
	外科手技	清潔操作 手洗い ガウンテクニック 縫合 抜糸 消毒・ガーゼ交換
	検査手技	尿検査 末梢血塗抹標本 微生物学的検査(G染色含む)
妊娠反応検査 血液型判定		
脳波検査(記録)		
超音波検査(心・腹部)		
視力視野 聴力 平衡検査		
12誘導心電図 経皮的酸素飽和度モニター		
診察手技	医療面接 診察法(成人・小児・全身・各臓器)(侵襲性、羞恥的医行為は含まない) 基本的な婦人科診察 バイタルサイン	
	耳鏡 鼻鏡 眼底鏡 直腸診察 前立腺触診 乳房診察 高齢者の診察(ADL評価、CGA)	
	救急	一次救命処置

2. 指導医の実施の介助・見学が推奨される（レベルⅡ）

医行為		
レベル	内容	医学生の実習における医療行為と水準(平成22年度改訂版モデル・コア・カリキュラムに準拠した北村試案に一部削除、加筆し引用)
指導医の実施の介助・見学が推奨される（レベルⅡ）	一般手技	中心静脈カテ挿入
		動脈採血・ライン確保
		腰椎穿刺
		膀胱洗浄
		ドレーン挿入・抜去
		全身麻酔、局所麻酔、輸血
		眼球に直接触れる治療
		各種診断書・検査書・証明書の作成
	外科手技	手術、術前・術中・術後管理
	検査手技	脳波検査(判読)
		筋電図
		眼球に直接触れる検査
		超音波検査(心・腹部)
		エックス線検査
		CT/MRI
		核医学
	内視鏡検査	
診察手技	婦人科疾患の診察	
	妊婦の診察と分娩	
救急	救命治療(二次救命処置等)	
	救急病態の初期治療 外傷処置	

注釈：1) ここにリストされていない診療科ごとの検査、治療への医学生の介助・見学は指導医の判断で許容される。

2) レベルⅡの手技のうち、各大学、実習施設が侵襲性の低いと判断した手技（例えば、脳波、超音波など）については大学ごとのカリキュラムに従って、個別同意を得て指導医の監視下で実施することは許容される。

出典：診療参加型臨床実習のための医学生の医行為水準策定

一般社団法人 全国医学部長病院長会議

(平成26年7月)